

＜私が中学生だった頃～厚中 OB 平成編＞

今回は、新校舎のスタートの年に入学した大塩奈緒美さんにインタビューさせていただきました。

—— 新校舎スタートの年に入学したということですが。

○私の入学した年に統廃合があり、新校舎のはじまりでした。榎山小から3人だけの同級生たちと不安が大きいスタートでした。いざ行ってみると、周りの友達に声をかけてもらってすごく仲良くなることができました。

—— 当時はやんちゃな生徒が多かったという話も聞きますが。

○それも語り継がれているんですね(笑)。たしかにそんな雰囲気はありましたが、私たちの学年はみんな仲良く過ごしていました。当時流行っていたものでいうと、同級生と交換日記をしていました。今日あったこととか好きな人の話とか、こっそり書いてみんなで回していました。今はSNSがあって便利だとは思いますが、当時のコミュニケーションも、返事を待っている時間を含めて楽しかったです。

—— 厚中で過ごした3年間の印象や覚えていることはありますか？

○熱血な先生が多かったですね。学校祭でトラブルがあった時に、私たちの話を聞いてくれた先生が「海を見せたい」と言い出して、何故かみんなでむかわの海に連れて行ってもらったことが印象に残っています。海でたくさん遊んで、すっきりして帰ったのは、いま振り返ってみても少し可笑しいけど良い思い出です。どの先生も魅力的で大好きでした。震災の時も心配してすぐに電話をくれた先生がいて、とても嬉しかったんです。普段はおとなしいけど、本当にあたたかい先生でした。

—— 中学生時代は良い思い出がたくさんですね。

○自分の中では中学校の時に、友人の土台が一番出来上がった時期だと思っています。今でも心底あったかいと思うのは、やっぱり厚真の友人たちです。卒業して社会人になってからも色々な同級生と時々集まっていて、ずっと関係が続いています。昔も今も、みんな厚真が好きなんです、きっと。

このコーナーは、教育魅力化支援員の加藤千昇さんに担当していただきました。

大塩奈緒美(おおしなおみ)さん

平成4年3月卒業

厚真町富里出身。高校時代まで厚真で過ごした後、苫小牧で就職。現在は厚真町土地改良区で経理を担当。



前列右から3番目で顔が半分隠れているのが大塩さん。みんなで海に連れて行ってもらった日のことを楽しそうにお話してくださいました。

雑巾のご寄贈ありがとうございます

このたびは豊沢自治会様より雑巾のご寄贈を賜り、誠にありがとうございました。現在、本校では、生徒の心と体の健康を第一に、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、日々の教育活動を行っている所です。頂いた雑巾はさっそく、校内の掃除に使わせて頂きます。



3月の主な予定

3	木	公立高校入試①(学力検査)
4	金	公立高校入試②(面接試験)
10	木	予餞会 3年生バイキング給食
11	金	卒業式前日準備(4h)
12	土	第33回卒業証書授与式
14	月	振替休業

16	水	公立高校合格発表
18	金	期末業務日(部活なし)
21	月	春分の日
23	水	大掃除(4h)
24	木	修了式・離任式(3h)
25	金	年度末休業